

2018. 08. 11 第二土曜会

～すぴ屋のみる宇宙～

1996年頃にTV番組から生まれた「スピリチュアル系」というジャンル。

「オカルト」という、ある意味でのおもちゃ箱から飛び出した「能動的、実践的な神秘系」のそれらは、ともすると「不思議ちゃん」とセットにして語られる事も多く、往々にして訳の分からないもの、というくくりにされがちである。

しかしながらスピリチュアル系に「宇宙」という言葉は必ずといっていいほど出てくるものであり、しかも「宇宙は愛で満ちている」という表現で使われたりもする。

ならばダークマターが愛なのか？それともNASAのみにいる宇宙とは違うものなのか？

わかっているようでぼんやりしたこの問題、その曖昧さこそが科学的ではないスピリチュアル系の真骨頂なのだと言い出す人まで現れる始末。

占い、セラピー、ヒーリングを扱う「すぴ屋」としては大変歯がゆい。

占い屋、セラピスト、ヒーラー、どれもがエンジニアであり、職人である以上

明確な立ち位置と定義がある。

今回は「モノが持つ特性を使う」セラピストを除外し、「独自のデータから分析する」占いと「モノそのものが持つエネルギーを扱う」ヒーリング、「仕組みを解き明かす」科学の立場から「ゼロ」と「宇宙」の捉え方を比較する。

優劣をはっきりさせる事が目的ではなく、見るでも観るでも視るでも診るでもない

それぞれの立場の「みる」事ができればと、思っている。